

【種別記号と提出書類一覧】

2019.1 この表は、「学校心理士資格更新手続き細則」に基づき作成したものです。

	種別	種別記号	ポイント	提出書類・添付資料等	点数記入用紙	
①	Aに該当する研修会〔必須〕			研修会参加を証明できるもの 「研修会参加記録カード」や参加証明書など。いずれも原本に限り ます。	様式 1	
	学校心理士資格認定委員会が認めた研修会に受講者として参加	A	1			
②	Bに該当する研修会			(注)B2は上限3ポイントまで。		
	学校心理士資格認定委員会が認めた研修会に受講者として参加	B1	1			
	所属支部支部長が認める自主研修会に受講者として3回以上参加	B2	0.5			
③	AまたはB1の研修会に講師として参加（1人の講師の場合）	C1	2	(注)研修会の講師名と承認ポイントをご確認ください。		
	AまたはB1の研修会に講師として参加（2人以上の講師の場合）	C2	1.5			
	B2の研修会に講師として年3回以上参加（講師人数は問わない）	C3	1			
④	スーパーバイジョンの実績 （1つのケースに対して3回以上）	スーパーバイザーとして、 スーパーバイジョンを行った場合 「学校心理士スーパーバイザー」以外 も可	D	3		・学校心理学に関するスーパーバイ ジョン実績証明書（更新用）
		スーパーバイザーとして、「学校 心理士スーパーバイザー」以外に スーパーバイジョンを受けた場合	E1	3		
		スーパーバイザーとして、「学校 心理士スーパーバイザー」に スーパーバイジョンを受けた場合	E2	4		
⑤	日本学校心理士年度大会、学校心理 士認定運営機構の社員である学会(*) の総会・大会、または学校心理士資 格認定委員会が認める心理学関係の 学会の年次総会・大会への参加。 なお、1つの年次総会・大会におい ては、F～Iまでのポイント数のう ち最も高いもの1つのみを有効と し、最大3ポイントまでとする。	総会・大会での単独発表または連 名発表の筆頭者	F	3	・発表演文集の表紙、目次、 該当ページのコピー ※ただし電子ジャーナル等で、冊子が発行 されていない場合は、当該論文のPDFフ ァイルをダウンロードし、それを印刷して添 付すること。業績一覧表の出版社または発 行雑誌等の名称の欄に、当該論文が確認で きるURLを記載すること。	
		総会・大会でのシンポジウム等の 企画者・司会者・話題提供者・指 定討論者	G	3		
		総会・大会での連名発表者（筆頭 以外）	H	1		
		総会・大会への参加	I	1		・参加証や領収証兼名札等 いずれも原本に限り ます。
⑥	学校心理学に関する研究論文の発表 学会研究誌・機関誌等	単独・筆頭発表者	J	5	・該当する論文が掲載されてい る雑誌の表紙、目次のコピー ※ただし電子ジャーナル等で、冊子が発行 されていない場合は、当該論文のPDFフ ァイルをダウンロードし、それを印刷して添 付すること。業績一覧表の出版社または発 行雑誌等の名称の欄に、当該論文が確認で きるURLを記載すること。	
		共著の筆頭者以外（連名発表者）	K	3		
	学校心理学に関する研究論文の発表 大学・研究所などの紀要 市販の専門雑誌等	単独または共著の筆頭者	L	3	・表紙、奥付、目次のコピー	
		共著の筆頭者以外（連名発表者）	M	1		
	学校心理学関係の著書の出版または 執筆	単著	N	5	・表紙、奥付、目次のコピー	
		共著	O	2		
⑦	学校心理士資格認定委員会が認める 海外での心理学関係の学会および研 修会への参加	認定委員会企画または主催の 海外研修への参加	P	5	・事務局にて確認しますので、 ご申告ください。	
		学校心理学に関する国際学会・ 会議・研修会等へ出席・筆頭発表	Q	3	・発表演文集の表紙、目次、 該当ページのコピー	
		学校心理学に関する国際学会・ 会議・研修会等へ出席・連名発表	R	2		
⑧	その他（学校心理士資格認定委員会 が認める学校心理士としての活動で、 認定委員会のポイント証明書があるもの）	Z	1	(注)1回の更新では上限5ポイント まで有効とする。		

(*) ・日本LD学会・日本教育心理学会・日本特殊教育学会・日本発達障害学会・日本発達心理学会・日本応用教育心理学会
・日本学校カウンセリング学会・日本学校心理学会・日本学校メンタルヘルス学会・日本コミュニケーション障害学会・日本生徒指導学会